

間宮喜十郎展
沼津市立歴史資料館
明治維新の教育者の肖像



昭和52年7月1日～11月27日まで

沼津兵学校
その歴史と現在



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
浮世絵に描かれた沼津



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
沼津の戦争と民衆



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335


明治の戦争と民衆
1930年8月16日(火)～9月30日(日)

企画展
愛鷹牧



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
江原素六とは



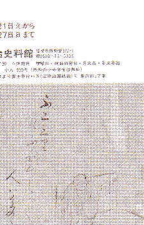
沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
沼津市のなりたち



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
箱根 書画名品展



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

沼津市明治史料館通信

二〇一四年一〇月 通巻119号

開館三〇周年記念特別号

企画展
沼津兵学校の群像



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
江原素六とその時代



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
写真・史料にみる占領期の沼津




沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
めまづの俳人たち



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
家族の肖像



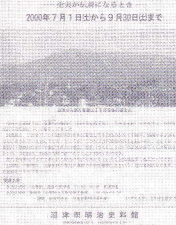
沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
愛鷹山中の遺跡



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
山居院



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
興農学園



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
沼津の交通



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
地図が語る沼津の歩み



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
みゆあ津沼



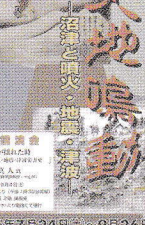
沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
沼津兵学校の文人たち



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
天地鳴動



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
文庫津



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
沼津と戦争



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
新収資料の公開



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
水




沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
愛鷹山にたつた歴史の足跡



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
大洲のお仕事




沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
沼津兵学校のすべ



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
奥駿地河津を襲った津波



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
Who? 地彦




沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
スルガの古墳



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
時を駆けた橋



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

企画展
近代沼津人物列伝



沼津市立歴史資料館
0556-23-3335

開館三〇周年を迎えて

館長 内村 博隆

沼津市明治史料館は、昭和五九年一月一日に開館し、平成二六年をもちまして開館三〇周年を迎えることができました。これは、ひとえに皆様方のご支援とご協力の賜物と、心より御礼申し上げます。

沼津市明治史料館は、郷土の偉人であります「江原素六先生」や明治維新直後に静岡徳川藩によって創設された「沼津兵学校」とその人材たちをはじめ、明治の先人たちの業績を中心に紹介する博物館として建設されました。

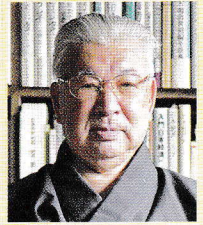
現在、当館は約一三万点の史料を所有し、三〇年間にわたる調査・研究の発表の場として、常設展示、企画展示などを通して、市民をはじめ、研究者等に広く歴史情報を提供しています。平成二五年度は約八、五〇〇人の方々にご利用していただき、また、「ぬまづの宝一〇〇選」にも選ばれ、市民の誇りと郷土愛を育む一翼を担っています。

引き続き、江原素六先生や沼津兵学校に代表されるような明治の人びとの生き方を学び伝え、沼津の過去と未来を結ぶ「架け橋」となって、沼津のまちづくりに貢献できるよう、精進してまいりますので、更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

●企画展のあゆみ

- 昭和六〇年度（一九八五） 「間宮喜十郎展」
- 昭和六一年度（一九八六） 「沼津兵学校」
「なつかしの沼津」
- 昭和六二年度（一九八七） 「浮世絵に描かれた沼津」
「沼津絵はがき」
- 昭和六三年度（一九八八） 「草莽の国学と明治維新」
「教科書のあゆみ」
- 平成元年度（一九八九） 「沼津藩の人材」
「むかしのビラ・チラシ」
「紙面にみる昭和世相史」
- 平成二年度（一九九〇） 「明治の戦争と民衆」
「沼津市域にみる日清・日露戦争」
「拓本でみる郷土の歴史と人物」
- 平成三年度（一九九一） 「愛鷹牧」
「報道にみる昭和の戦争」
「一五年戦争期の新聞雑誌」
- 平成四年度（一九九二） 「江原素六とその時代」
「ぬまづ江戸時代図誌」
- 平成五年度（一九九三） 「沼津市のなりたち」 「自治と行政の発達史」
「館蔵書画名品展」
- 平成六年度（一九九四） 「沼津兵学校の群像」
「一校逸品 沼津市小中学校資料展」
- 平成七年度（一九九五） 「昭和の戦争と沼津」
「写真・史料にみる占領期の沼津」
- 平成八年度（一九九六） 「近世・近代ぬまづの俳人たち」
「レンズに写った沼津」
「アマチュア写真家が記録した戦前・戦後」
- 平成九年度（一九九七） 「六〇年前の家族の肖像」
「出征兵士を送った原町の人びと写真展」
「神に仕えたサムライたち」
「静岡移住旧幕臣とキリスト教」
「本のぬまづ人物誌」
「館蔵コレクションの紹介」
- 平成一〇年度（一九九八） 「近世・近代ぬまづの画人たち」
「書にみる沼津の人物」

開館三〇周年を祝して



四方一弥
(元国士舘大学教授)

「沼津に明治史料館？」と訝る声をしばしば聞く。とはいえ「明治史料館」の名は今日では市民はもとより全国的にも知られるようになった。

昭和五七年、郷土沼津の近代化の歴史をテーマとする沼津市郷土史料館(仮称)の建設が表明された。日頃財政の窮乏を訴える市の事業としてはまさしく「寝耳に水」であり、その経緯は詳らかにしない。建設の趣旨には、幕末維新期に活躍した個人の顕彰の意味合いが窺われ、大変結構なことにその趣旨に賛同し、開館準備のための資料調査委員としてもお手伝いさせていたただく中で、乏しい財政下で折角創られる記念碑的事業は単なる一沼津、一地域の施設に留めてはならないと強く思った。

幕末から維新にかけて、沼津は過去の歴史にみられなかった大きな変革を迎えた。二六〇年余の我が国の絶大な権力を謳歌した徳川氏が、一藩主として独占した過去の政治・文化の遺産を携えて駿河に移住し、

その結晶である沼津兵学校に凝縮させた。短い期間ではあったが、政治・社会・思想・文化・実業などの諸分野で近代日本創設にかかわった幾多の人材を世に送り、まさしく沼津兵学校は明治維新期の日本の最高学府であり、その金字塔的存在であり、我が国近代化の震源地となった。

沼津兵学校と深く関わる金岡の地に新設される博物館には、沼津の歴史的意義や性格や文化を国の内外に示す名称こそふさわしいと考え、その歴史資料・史料を収集し後世に伝える博物館としての「史料館」に、単に一元号としての「明治」ではなく今日の日本の変革と発展の象徴的標柱としての「明治」を冠し、「明治史料館」という名称を、市当局に提案させていただいた。このいわば意想外な名称の正式決定について、当時の市の担当者がその意義と使命を力説し、ようやく決定をみたという。

開館三〇年に当たり初心を顧みたい。

平成二一年度(一九九九)

「岳陽少年団」
「むかしむかしの年賀状」

平成二二年度(二〇〇〇)

「愛鷹山中の謎の遺跡 山居院」
「興農学園 ―みかん村とデンマーク教育」

平成二三年度(二〇〇一)

「浮世絵に描かれた東海道と沼津宿」
「絵葉書にみる沼津の名所」

平成二四年度(二〇〇二)

「沼津の交通」
「地図が語る沼津の歩み」

平成二五年度(二〇〇三)

「沼津のあゆみ写真パネル展」
「沼津兵学校の文人たち」

平成二六年度(二〇〇四)

「天地鳴動」
「沼津文庫」

平成二七年度(二〇〇五)

「一九三一―一九四五 沼津と戦争」
「沼津の絵図」

平成二八年度(二〇〇六)

「近世・近代沼津医療事情」
「新収資料の公開」

平成二九年度(二〇〇七)

「牧堰・門池用水」
「水の恵みと人びとの暮らし」
「愛知県にあった沼津藩領」
「大浜陣屋の沿革」

平成三〇年度(二〇〇八)

「今よみがえるセピアの香り 沼津今昔物語」
「火消しのお仕事 沼津消防沿革史」

平成三一年度(二〇〇九)

「開館二五周年記念 史料館のキセキ」
「沼津兵学校のすべて」

平成三二年度(二〇一〇)

「わがまちからの富士山 三市対抗富士自慢」
「奥駿河湾を襲った地震・津波」

平成三三年度(二〇一一)

「史料にみる安政東海地震」
「輝く静岡の先人展 江川坦庵とゆかりの人々」

平成三四年度(二〇一二)

「スルガの古墳」
「高尾山古墳が語るもの」
「御成橋命名一〇〇周年記念 時を駆けた橋」

平成三五年度(二〇一三)

「近代沼津人物列伝」
「第六回沼津文学祭企画展(共催)」

平成三六年度(二〇一四)

「芹沢光治良の過ごした沼津」
「新収資料の公開」

平成三七年度(二〇一五)

「昔むかしのボク・わたし」
「沼津兵学校とその時代」

平成三八年度(二〇一六)

「沼津兵学校とその時代」

開館30周年記念特別展

沼津兵学校とその時代

平成26年12月6日(土)～平成27年2月23日(月)

歴史講演会

平成27年1月24日(土) 13時30分～16時

講師 浅川道夫氏
(日本大学国際関係学部 教授)

演題 「幕末維新期の兵制と士官教育
～幕府陸軍の遺産と日本陸軍の創設～」

平成27年2月14日(土) 13時30分～16時

講師 樋口雄彦氏
(国立歴史民俗博物館 教授)

演題 「沼津兵学校とその時代」

会場 当館講座室

定員 100名(先着順)

申込 12月6日(土)より受付
お電話または直接

ギャラリートーク

当館学芸員が展示の解説をします。

平成26年12月13日(土)

平成27年1月10日(土)

平成27年2月7日(土)

各回とも14時から

約30分(予定)

会場 当館展示室

申込 不要

(会場にお集まりください)

参加費 無料

(観覧料はかかります)

休館のお知らせ

下記の期間中、展示入替作業のため休館とさせていただきます。
平成26年11月28日(金)～12月5日(金)

夏休みイベント報告

今年もたくさんのお子どもたちが参加してくれました。

○「駿河凧」をつくろう

8月1日(金)実施 参加人数16人

○戦時中のくらしを体験しよう

8月6日(水)実施 参加人数29人

○高校生のための一日学芸員体験講座

8月7日(木)・20日(水)実施

参加人数23人

(参加希望多数だったため、2回実施)

○平和を考える戦争史跡めぐり

8月8日(金)実施 参加人数13人

(8月10日(日)は台風11号の影響で中止)

戦争史跡めぐり▶



▲「駿河凧」をつくろう

戦時中のくらしを体験しよう▶



沼津市明治史料館通信

第119号

平成26年10月25日

編集・発行 沼津市明治史料館

〒410-0051 沼津市西熊堂372-1

TEL055-923-3335

FAX055-925-3018

印刷

みどり美術印刷株式会社

ぬましんストリートギャラリーの展示

沼津市大手町にある沼津信用金庫本店ストリートギャラリーで11回目となる館蔵資料展を開催しました。今回は「書画名品展」と題して、9月2日(火)から30日(水)の期間に沼津藩主水野忠友や高島秋帆・勝海舟などの書画を展示しました。

